

パブコメ集計結果(分子イメージング研究戦略推進プログラム(分子イメージング戦略))

1. 総数: 49 件

2. 賛否について:

○賛成:	47 件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	1 件
○反対:	1 件
計	49 件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・ 分子イメージング研究戦略推進プログラムは「難治がん」や「認知症」という、国民の関心の高い重要課題の解決につながる優先度の高い研究テーマと考える。
- ・ 高齢化社会を迎え、腫瘍や認知症を抱えた高齢者の人口比率は今後増加する。分子イメージング研究は、より早く、苦痛の少ない方法でこれらの疾患を診断するだけでなく治療にも直結した分野として今まで基礎研究を重ねてきた。今後は実用化に向け今までの蓄積を国民に還元するためにもこの分野の研究力・臨床への実施力を高める必要がある。
- ・ 分子イメージング研究は、最重要課題として、重点的に実施すべきである。特に、PETの機器開発は、世界的な開発競争下において、日本もがんばっていると聞く。人の命に直結する技術開発は、外国に頼ることなく、自国で培うべきである。がん診断やアルツハイマー病診断を、国民の誰もが少ない費用負担にて手軽に受けられる未来の世界が、少しでも早く訪れることを真に期待している。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・ フェムト秒レーザーのような高価な機器をプロジェクトで買い上げて貸出先を公募したらどうだろうか？2年くらいの短期・2000万くらいの規模の公募を2-3回くりかえしてはどうか？目標をガンや疾患の発見に限らず、生体活動のモニターと制御まで広げたほうがいいのではないかな？

③反対

- ・ 第一期が終了するので、今後は、橋渡し研究(トランスレーショナル・リサーチ)と統合すべき。